

2023年度 学校を核とした地域づくり講座 第3回(10/21)
グループワークまとめ

以下の2つのテーマについてグループごとに意見交換。

- 1.印象に残った言葉
- 2.丹波市のPTAに期待することは何ですか？

グループ①

印象に残った言葉	丹波市のPTAに期待すること
<ul style="list-style-type: none">・もっと学校がオープンにある。助けてほしいことを具体的に・PTA 役員、学校の情報が入る(実感できる)。先生や役員の方と仲良くなれる・学校活動に参加しても、役員にはならないよ。目立ったら役員にさせられる・(神戸市など都市部では)PTA の未加入が増えている。PTA の組織率 50%以下にびっくり!・役員になると学校へ直接先生に意見を言うことができる・CS(コミュニティ・スクール)は学校の手伝いをするものではない・目的→手段がどうなっている?(学習指導要領)・子どもが笑っているところを近くで見れるのが良い・校長が変われば学校がいろいろ変わる・CS・PTAは学校の手伝いではない・保護者が当事者・負担感・PTAと地域との関わり・PTAの活動の整理・子どもたちの為の活動に特化していきたい・保護者が求める情報が得られる場所・校長次第	<ul style="list-style-type: none">・学校の困りごとに的確に対応(先生の働き方改革の手助け)・地区(自治会)の子ども会の連携(単独では運営できない)・地域学校協働活動推進員の人材発掘と育成の場・保護者が仲良くなり、笑顔で学校に来ることができる・学校、子どもたちの応援団としての活動・子どもたちが楽しくなるPTA活動をしてほしい・楽しみながらわくわくしながら好きなように・枠にとらわれない在り方を・学校とも地域とも仲良く・地域を巻き込んで・保護者が学校に楽しく参加するには?・地域が何をすれば良い?役割で

グループ②

印象に残った言葉	丹波市のPTAに期待すること
<ul style="list-style-type: none"> ・市連合からの脱退 ・PTAの解散 ・PTAの入会届 ・保護者は地域住民 ・PTA役員から一番遠い人をいかに巻き込むか ・PTAとしてやりたいことをやる！ ・保護者が学校の構成員であるという意識 ・子どものためにならないことはやめた ・CSの地域は「学校外」、範囲を広く！ ・CSで学校運営に地域、保護者が入り込む 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながり ・市連合の意義 ・大人同士のつながり→大人の学び ・今までのPTAの形にとらわれない形での活動 ・世代を結ぶつながり ・取り組み(実践)、交流 ・地域の中のPTAという意識をもってね！ ・PTA役員経験者を地域活動につなげる ・今しかないPTAを楽しんで。

グループ③

印象に残った言葉	丹波市のPTAに期待すること
<ul style="list-style-type: none"> ・先生の働き方改革 ・子どもたちの笑顔を多く見る機会 ・子どもの素の笑顔が見れる＝幸せ ・PTAの本質 ・子どもの多様性≠教員忙しい ・子どもを中心に考える活動に ・企業も巻き込んで、学校の壁を取り除く ・子どもが笑っているところをたくさんみるための活動＝PTA ・都市部のPTAは壊滅状態(丹波市の現状が知りたい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA自体が楽しむ ・元気を与える世代。地域へ新しい風になれ！ ・子どもに大人が楽しむ姿を見せる ・若い人の活動。年長者の理解。 ・コミスクとは？PTAとは？広報のやり方

グループ④

印象に残った言葉	丹波市のPTAに期待すること
<ul style="list-style-type: none"> ・PTA→地域活動の人集め ・活動の見直しの必要性(本当に後がない状況) ・矛盾の中でどうしたらいいのか。両方を改善するには(子どもの多様性への対応と先生の負担軽減) ・PTAのイメージの先入観を変革するには？ ・PTA本来の目的 ・1年交代 ・保護者＝お母さん ・PTA加入・脱退は任意である ・未加入者数の増大。半数程度の学校も。 ・都市部ではPTA消滅も ・CSが学校運営に関わること ・CS教職員の理解が得られない ・イギリスのCSとの違い(何とか良いとこ取はできないか) 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加しやすい体制づくり ・全学校に地域活動協働活動推進員を置いて活発にまわるように！ ・組織構造の見直し ・PTA＝CS ・子どもを中心とした活動 ・お父さんの参加 ・子どもの権利を守るための活動啓発

グループ⑤

印象に残った言葉	丹波市のPTAに期待すること
<ul style="list-style-type: none"> ・PTAの活動見直し必須 ・関わるきっかけ＝PTA ・改革が学校だけでは無理 ・課題を先生からオープンに◎ ・保護者が思う課題を共有する ・関われるきっかけ作りが大切 ・「困っている人」をCSチームで対応する ・他人の子を通して成長の多様性に気づく 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業を巻き込んだ活動 ・活動の共有をする(SNSなど) ・学校・地域が知ろうとすることから ・学・保つながらるきっかけ ・見直しの時期(中身) ・コムスク→学び直しチャンス ・学校に関わる→自分の学び